

(別紙)

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度第1回美幌町行政改革推進委員会
開 催 日 時	令和5年11月6日(月) 13時30分 開会 15時03分 閉会
開 催 場 所	美幌町役場庁舎3階 第1・2委員会室
出 席 者 氏 名	吉村委員、磯崎委員、染谷委員、三浦委員、下山委員、加藤委員、 長谷川委員、森委員
欠 席 者 氏 名	中川委員、采女委員、長谷川委員
事務局職員職氏名	那須総務部長、沖崎政策課長、竹下地方創生担当主幹 政策統計グループ 稲場主査、森谷主事補
議 題	(1) 美幌町行政改革実施計画(第2次)における令和4年度の実施結果 について (2) 令和5年度における主な取組について ①デジタル推進の取組 ②ふるさと寄附金の取組
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	0名
会 議 資 料 の 名 称	【資料1】第2次美幌町行政改革実施計画【令和4年度 実施結果】 【資料2】DX 美幌町の取組 【資料3】美幌町ふるさと納税
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音データを使用した全部記録
	<input type="checkbox"/> 録音データを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録

<p>沖崎課長（事務局）</p>	<p>トしたりなど、町民からも大変好評を得ることが出来ている状況でございます。</p> <p>この窓口サービスの向上につきましては、役場の印象に大きく影響しますし、利用者のニーズも常に変化いたしますので、引き続き取り組んで参りたいと考えております。</p> <p>続きまして、No.4「事務改善等提案の募集」についてです。</p> <p>令和4年度は、職員研修について、役場内部のメンバーで構成される行政事務改善委員会で議論し、職員に対しアンケートを実施しております。</p> <p>アンケートにつきましては、全職員を対象として実施しており、勤続1年目の担当職から、20年以上の部長職まで幅広く20数件の回答があったところでございます。</p> <p>回答結果の方から、職員がどのような研修を求めているのかなどが把握出来ており、今後の職員研修を選定する際の参考とするとともに、内部講師での研修の実施についての検討資料等として活用しております。</p> <p>続きまして、下の方にいきましてNo.6「災害対応マニュアルの見直し及び職員への意識付け」についてでございます。</p> <p>3年に一度実施している美幌町総合防災訓練を通じて、災害発生に行動する職員の避難所設営、運営に係る手順、行動の正しい知識を身につけられるよう努めております。</p> <p>なお、総合防災訓練につきましては、コロナ禍ということもございまして、人数を制限した形で実施しておりますけれども、住民や関係機関を含め合計で220名の参加をいただいております。</p> <p>そのうち、67名が町職員という状況になっております。</p> <p>簡単ではございますが、基本方針1についての説明は以上となります。どうぞよろしく願いいたします。</p>
<p>吉村会長（司会）</p>	<p>（質疑応答）</p> <p>それでは、ただいま事務局から1番目の事務事業の改善について、説明がございましたけれども、何かご質問、ご意見等ありますでしょうか。</p>
<p>染谷委員</p>	<p>6番の「災害対応マニュアルの見直し及び職員の意識付け」というところで、災害が起きた際、緊急的な部分を収めた後の対応が非常に課題となっている。災害ボランティアの訓練は行っているが、行政側の連携をどうするかということが極めて重要なので、ぜひそれについても明示してもらいたい。</p> <p>具体的な連携や予算面のことをイメージしながら行革の中に位置づけすべきだと感じましたので、意見として出させていただきます。</p>
<p>吉村会長（司会）</p>	<p>意見ということで回答はなくてよろしいですか。</p>
<p>染谷委員</p>	<p>はい。</p>
<p>吉村会長（司会）</p>	<p>意見ということですので、事務局の方はよろしく願いいたします。</p>
<p>沖崎課長（事務局）</p>	<p>承知しました。</p>
<p>吉村会長（司会）</p>	<p>その他で1番目の関係で質疑等ありますでしょうか。</p> <p>（その他質疑、意見なし）</p> <p>それでは、次に移りますが、2番目の「地域力の向上」につきまして、事務局よりご説明の方よろしく願いいたします。</p>

<p>沖崎課長（事務局）</p>	<p>○「2 地域力の向上」 （事務局説明）</p> <p>それでは、基本方針2の「地域力の向上」について、こちらも基本方針1と同様に主だった実施内容のみのご説明とさせていただきますと思います。</p> <p>資料1の2ページをご覧ください。</p> <p>まず、No.8「広報・広聴機能の充実」の実施内容でございますけれども、一番上の段「町民ニーズに対応したまち育出前講座メニューの考案」についてでございます。</p> <p>令和4年度は、新規メニューを2件追加し、合計で98のメニューとなっております。追加したメニューにつきましては、申込みバスモービーを導入したことに伴う、町内バスの利用方法というテーマと、災害時に役立つパッキングというものとなっております。</p> <p>パッキングというのはビニール袋とかそういったパックを利用して食器の上にかぶせて使うなどといった内容となっております。</p> <p>続きましてその下の「まち育講座の積極的な活用」についてでございます。</p> <p>こちらは、平成30年の開催以降、コロナ禍などにより講座を実施していないことや、その間にオンラインでのコミュニケーションが普及していたことなどから、場所や時間を決めて町民の皆様に足を運んでいただくことがよいのかどうか。そういったことを含めて、情報提供手法の在り方を検討することとしたため、計画を下回る評価にさせていただいています。</p> <p>次にNo.9の「協働の推進」についてですが、「おはようコール「旗の波」の実施」につきましては、64自治会、9団体、延べ1,881人の方に御参加をいただき、その下の歳末特別警戒街頭啓発につきましては、関係団体や美幌警察署と合同で、79名の方に参加いただき、それぞれ実施している状況でございます。</p> <p>続きましてNo.10「地域活性化を目的とした町民活動団体への支援充実」についてです。</p> <p>実施内容の「まちづくり活動奨励事業の活動促進」についてですけれども、町民の方自らが企画し、自ら実践する事業に対する事業に対して補助するという、美幌の活力共創事業におきまして、新規事業1件と継続事業4件を対象と認定しております。</p> <p>ちなみに、新規事業につきましては、美幌町に興味を示してくれている札幌の大学生を対象とした美幌生活体験ツアーというもので、滞在中に美幌町の中小企業への職業体験ですとか、文化体験、農業体験というものをしてもらい、美幌町への就業ですとか、移住あるいは観光などでの再訪問を促すという目的の事業となっております。</p> <p>その他の4つの継続事業につきましては、この事業は3年目まで応募することができるものとなっております。町中の花いっぱいまちづくり事業ですとか、お化け屋敷あるいはいきいきピアノというのを実施しております。</p> <p>基本方針2についての説明は以上で終わります。よろしくお願いいたします。</p>
<p>吉村会長（司会）</p>	<p>（質疑応答）</p> <p>ただいま2つ目の地域力の向上につきまして、結果報告ということでご説明がありましたけれども、何かご質問等ございますでしょうか。</p> <p>（質疑、意見なし）</p> <p>ないようですので、次に進めさせていただきます。</p> <p>続きまして、3番目の行財政運営基盤の強化につきまして、ご説明をお</p>

<p>吉村会長（司会）</p>	<p>願います。</p>
<p>沖崎課長（事務局）</p>	<p>○「3 行財政運営基盤の強化」 （事務局説明） 基本方針の3「行財政運営基盤の強化」についてご説明をいたします。No.14「町税等の収納対策の強化」についてです。実施内容は2つに分かれており、それぞれ記載のとおりの実績となっております。 このような取り組みの結果、公営住宅の使用料においては、現年度の収納率ですが、平成25年度から10年連続で100%、保育料におきましては、同じく現年度の収納率が平成31年度から4年連続で100%となっており、さらに令和4年度におきましては、学校給食費につきましても現年度の収納率が初めて100%となっております。 こういったことで、徴収部門の職員の努力が形としてあらわれている状況となっております。 続きましてNo.15「税外収入の充実」の中の、ふるさと寄附金事業の推進についてですけれども、こちらは後ほど別途ご説明をさせて頂く予定ですので詳細には触れませんが、令和4年度で4億円代に乗っている状況でございます。 その2つ下の段「未利用町有地の売却促進」でございます。 土地を1件売却しているということで、場所は西1条南の土地となっております。大通のセイコーマートの裏の小規模多機能型居宅介護施設の建設地として売り払いしたものでございます。 今後も未利用の状態にある普通財産につきましては、適切な管理や財源確保のため、適宜売却を進めて参りたいと考えております。 続きましてNo.16「使用料・手数料の見直し」についてでございます。 美幌町におきましては4年に1度、使用料、手数料を見直すこととしておりまして、令和4年度が見直しを行う年となっておりますが、記載のとおり新型コロナウイルス感染症、物価やエネルギー価格の高騰などによる町民生活への影響を考慮しまして、料金改定、値上げについては見送った状況でございます。 下から3番目No.19「健全な財政運営の推進」ということで、実施内容の「第2次財政運営計画の推進」についてです。 第2次の計画期間につきましては、令和4年度で満了するというものでしたので、第3次の財政運営計画を令和4年度中に策定しております。 今後10年間は、当該計画に基づき財政運営を行っていくこととしております。 本日、第3次財政運営計画をお配りしようかとも考えましたが、今年の5月に町長選がありまして、町長の新しい公約というものが出ております。その兼ね合いもあり、3月に策定したばかりの第3次財政運営計画の見直し作業を現在進めている状況ということで、今回の配付につきましては見合わせた次第ですので、ご了承いただきたいと思います。 少し飛びますけれども、4ページのNo.24「職員の人材育成に向けた人事評価制度の確立と能力向上」についてでございます。 人事評価及び職員研修につきましては、記載のとおり実施しております。 また、1番下の段になりますけれども、道との人事交流につきましては、現在1名を派遣しております。 美幌町から道に派遣し、その代わりに道から美幌町に来ていただくという総合交流という形で実施しております。 基本方針の3については以上となります。どうぞよろしくお願いいたします。</p>

<p>吉村会長（司会）</p>	<p>（質疑応答） ただいま行財政運営基盤の強化についてご説明をいただきましたけれども、皆様から何かご質問、意見等ありませんか。 （質疑、意見なし） ないようですので次に進めさせていただきたいと思います。それでは4番目「公有財産の適正管理」についてご説明の方よろしくお願ひいたします。</p>
<p>沖崎課長（事務局）</p>	<p>○「4 公有財産の適正管理」 （事務局説明） 基本方針の4「公有財産の適正管理」について、資料は5ページでNo. 25「公共施設の適正配置等の推進」についてですが、こちらには保育施設や学校施設の最適化という実施内容としております。 両施設とも少子化の影響を受ける施設でありますけれども、単に統廃合を行えばいいというものではございませんので、子ども達のことを中心に引き続き検討していくということになっています。 続きましてNo. 26以降については、上水道下水道、橋梁あるいは公営住宅などの各公共施設について、施設の延命化などを行い、ライフサイクルコストの削減を図るものとなっております。 実施内容につきましては記載のとおりとなっております、それぞれの長寿命化計画に基づいた整備を行っている状況となっております。 基本方針4については記載のとおりであり特筆することがないので、簡単ではありますが、以上で説明を終わりたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
<p>吉村会長（司会）</p>	<p>（質疑応答） それでは4番目「公有財産の適正管理」につきまして、皆様からなにかご意見等ありますでしょうか。</p>
<p>染谷委員</p>	<p>先ほどの料金改定を見送るということでありまして、行政に昔いた者として今の状況を肌で感じるのは、物価が相当な勢いで上がっていて人材もそれに追いつかない。これは今に始まったことではなく、20年前からそんな状況が起きていた。 物価高騰は行政経費の高騰に大きく結びついてきますので、一般の町民からすると水道下水の料金改定が非常に影響を受けるということ。そして、それとともに使用料、手数料の見直しも、間違えなく控えてくるのではないだろうかという危機感を感じている中で、見送るけれども状況によっては見直しますよというような表現になっております。 また、長寿命化計画に基づく施設の更新の費用、あるいは施設の老朽化に伴っての建設費、修繕費の動向だとか、コロナが収まってからいろいろなものが一挙に出てくるのではないかという危機感も感じていますが、その辺含めて、どんな状況なのか言えることがあればお聞きしたい。</p>
<p>那須部長（事務局）</p>	<p>令和4年度の時にはコロナ禍ということもありいったん見送りましたが、それが落ち着いてきてまた物価高騰。おっしゃる通りだと思います。 これは時期を見てどこかの時点では料金改定ということで、踏み切らなければならない。というふうには考えております。 また、水道料金、下水道料金も昨年から全国的に公営企業に移行しました。公営企業になったということは、その料金収入で全部賄わなければならないので、そういったことを想定して、経費に見合った料金設定ということも考えていかなければなりません、具体的にいつから料金改定しま</p>

那須部長（事務局）	<p>すよ。ということは今の時点では決まっておられません。</p> <p>しかし、料金を上げる場合は、来年から急に上がりますよなどといった急な対応をするつもりはありませんので、前もって丁寧に説明をしたうえで、実施したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
染谷委員	<p>私も昔水道のほうも携わったことあるんですけども、その頃は30%ぐらい上がったんですね。それでかなりの反響がありました。値上げ幅が小さければ何とか町民の方々が納得できるんでしょうけれども、これが一気に3割を超えるなどの値上げ幅になった場合、いくら丁寧に説明してもなかなか収まらないものもありますので、行政側として留意をお願いします。</p>
那須部長（事務局）	<p>値上げするときには説明を丁寧にしたいと思いますので、値上がりすることだけが独り歩きしないようにだけお願いします。</p>
吉村会長	<p>これからやらなければならない工事というのは具体的に決まっていますか。</p>
那須部長（事務局）	<p>当然下水道は耐用年数があるので、年次的に更新をしていかなければならない。</p> <p>ご存じのとおり下水終末処理場もかなり古い施設でありますので、耐震化も今調査していますが、それが基準を満たさないと耐震化工事やなんかもしていかなければならない状況です。</p>
吉村会長	<p>分かりました。</p>
吉村会長（司会）	<p>他に何かありますでしょうか。</p> <p>（その他質疑、意見なし）</p> <p>ないようですので、議題の2に移らせていただきます。</p>
	<p><令和5年度における主な取組について></p>
吉村会長（司会）	<p>5年度における取組について2項目ございますのでご説明を頂きたいと思いますが、まずデジタル推進の取組について事務局からご説明の方よろしくをお願いいたします。</p>
竹下主幹（事務局）	<p>①「デジタル推進の取組」 （事務局説明）</p> <p>美幌町のDXの取り組みについてご説明させていただきます。</p> <p>まず、国の動きがございまして、3年前の令和2年12月に、国はデジタル社会の実現に向けた基本方針というものを打ち出しました。</p> <p>基本方針というものは、目指すべきデジタル社会のビジョンを示したもので、同時に自治体DX推進計画という自治体市町村が重点的に取り組むべき事項や内容を織り込んだものが出されました。</p> <p>市町村の役割というのは、住民に身近な行政を担う市町村の役割というのが、国が目指すべきデジタル社会のビジョン達成に向けて、重要な役割を持つということで、自治体にも大きく二つ役割があり、自ら担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して住民の利便性を向上させること。</p> <p>もう一点は、デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図って、人的資源を行政サービスのさらなる向上につなげていくことが重要とされています。</p>

竹下主幹（事務局）	<p>DXというのはデジタルトランスフォーメーションの略となっております。デジタルというのはアナログの対になる言葉で、現実世界の物や事がデータに変換されて活用されているもので、一般的にはパソコンやスマートフォンなどでデジタルに触れられているかと思います。</p> <p>一方トランスフォーメーションといいますのは、構造や形質を変換すること。英語の訳では、変革とか変化という意味で使われております。すなわちデジタルトランスフォーメーションというのは、デジタル技術を活用して変革すること。ということを指します。</p> <p>このことから、DXというのはデジタル技術を活用して変革することだというふうに思っただけであればと思います。</p> <p>本町の取り組みですけれども、令和3年に美幌町DX推進計画を策定しました。「いつも通り」を「もっと便利」に」というスローガンのもと、デジタル技術の活用を進めて行く計画となっています。</p> <p>計画は、自治体システムの更新や行政手続きのオンライン化などの8項目で、令和8年3月までの計画となっています。</p> <p>本年7月、私事ですけどもデジタル推進主幹として選任されました。また、担当も1人配置され、もともと配置されてる総務課の電算担当主査と合わせて3名でDXの取り組みを進めております。</p> <p>また、先月号の広報にDXの特集記事が載っておりますので、ご覧いただければと思います。</p> <p>さて、美幌町がどのようにデジタルを活用しているのかという例をいくつか御紹介したいと思います。</p> <p>まず1点目、RPAというアプリケーションを用いた業務の効率化を実際にやっている映像ですが、RPAというのは、ロボティックプロセスオートメーションの略で、要は手作業をロボット、PCが代わりに行うものです。</p> <p>この動画は、金融機関から町に提出されたエクセルシートを見ながら、今まで職員が財務会計というシステムに手入力をしていたものを、RPAというアプリケーションを使って自動で入力するようにしたものです。今動かしているそれぞれ操作は人間が動かしているのではなく、機械が勝手に動かしています。あらかじめプログラムしておくことで自動で入力されるため、機械が作業している間、職員は他の業務ができるようになりました。</p> <p>この例の他にも税関係の給与支払報告書を機械で読み取り、そのデータを自動的に税務システムに入力するなど、そういったものにこのRPAを活用しています。</p> <p>もう1つ例を御紹介したいと思います。</p> <p>これは現在導入を検討しているものですが、マイナンバーカードや運転免許証を機械にセットすると、カードの顔を認証して、実際にカードをセットした人間と顔認証を行います。正しく認証されますと、カードの情報が取り込まれ、住民票などの発行申請書に自動で印字されます。</p> <p>そうすることでお客様の書く手間が省けるというような技術がすでにできておまして、これは来年の導入を検討しております。</p> <p>また、本年4月には、デジタル田園都市国家構想交付金の地方創生拠点整備タイプという交付金をいただいて、KITEN という施設をみどりの村に設置し、デジタル環境を整備したコワーキングスペースをご利用いただいているなどもございます。</p> <p>最初に申し上げたとおり、DX推進計画は国の方針に大きな影響を受けて作っている計画でございます。</p> <p>その計画の大きな要素の中に、皆様には直接的な影響はありませんが、行政が活用する住民基本台帳のシステムを全国統一しようという動きがご</p>
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

竹下主幹（事務局）	<p>ざいます。</p> <p>全国統一にしようという背景には、法改正等が行われた際にそれぞれ違うシステムを使っていた場合、それぞれの会社がそれぞれ改修を行うとコストが高くなってしまいますが、システムを統一することによってシステム改修コストが抑えられることから、全国で同じシステムを使いましょうという動きがあります。</p> <p>それが令和7年度中に完了しなければならないため、その統一が最優先課題となっております。</p> <p>最後のスライドですが、これは北海道が示している北海道 Society5.0 といういわゆる北海道版DXの未来像です。このスライドに今後の可能性として概ね10年後とありますが、これが令和3年度に作られたため、今から8年後のDXの未来であり、デジタル技術を人、暮らし、地域、行政、そして産業と様々な分野でデジタル技術の活用が期待されます。</p> <p>美幌町としましても、デジタル技術を活用して、もっと便利にもっと効率よく、生活レベルでも実感していただけるような取り組みを進めて参りたいと思っております。</p> <p>また、デジタルの推進には業務効率化というのが大きな目的の1つでございますので、委員の皆さまにはご意見を頂戴する場合もあるかと思いますがご協力いただければと思います。</p> <p>以上、簡単ではございますが、美幌町DXの取り組みを御紹介させていただきました。</p>
吉村会長（司会）	<p>(質疑応答)</p> <p>ただいま議題の2番目の①「デジタル推進の取組」についてご説明いただきましたが、委員の皆さま、ご意見、ご質問よろしいですか。</p>
三浦委員	<p>デジタルを使うことで、情報共有などいろいろな面でいいことがあると思うけれども、ただ、いくら便利といっても高齢者は理解することがとても大変になるので、デジタルについていけない人がいるということも考えながら進めていってほしい。</p>
竹下主幹（事務局）	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>国のデジタル施策に、誰一人取り残さないデジタル社会の実現というコピーがありますが、使える人と使えない人がいて、その間で考えてしまうと、デジタルは全然進んでいかない。他方で、子どもや孫からスマホの使い方を教えてもらうなどといったことが日常的になっていますので、何とか共存を図っていきたくて、便利にできるところは便利にしていきたいと考えております。</p>
染谷委員	<p>担当者の人をお願いですが、デジタルの説明はアナログに置き換えて、これがこうなるんだよっていう説明をしたほうが、高齢者は分かりやすいかなと感じます。</p> <p>コロナワクチンの申込をパソコンでいつも行っていたが、昨日行おうと思ったところうまくいかないため、役場で申込をする予定ですけど、コロナワクチンの申込者がかなり役場に来ているということは、まだまだ進んでいないということに尽きます。</p> <p>もう一点、AIで文書を作る能力などが取り入れられてそんな動きを新聞で見まして、市町村には、国からどんな形でおりにきているのでしょうか。</p>

竹下主幹（事務局）	A I の活用については、デジタルガバメント推進計画というものがあり、先ほど御紹介したR P Aとあわせてどんどん使いなさいと言われていません。
染谷委員	例えば、真っ先に思ったのは議会のやり取りで、A I で一般質問作ってA I で回答を作る。そのやり取りで本当に良いんですか、と思う。
竹下主幹（事務局）	例えば、言葉の意味などをネットで検索しても、なかなか出てこなかったりするのですが、A I だと質問形式で、こういうときにはどのような効果があるでしょうか。などと質問すると、日本語の質問に合わせて回答してくれますので。
染谷委員	それを使うと職員の文書能力が磨かれるチャンスが大きく失われそうな気がします。
那須部長（事務局）	本当にしっかりとした一般質問や答弁書が出来たり、素晴らしい挨拶も作れます。
染谷委員	職員には自分の頭で考えて能力を磨かれて欲しいなと思います。
竹下主幹（事務局）	そのまま使うのではなく、ガイドラインをきちんと作って活用していくようにというの併せて言われております。
下山委員	この自治体システムは、町独自のものでしょうか。
竹下主幹（事務局）	本町が使っているのは、メーカー品をカスタマイズしている物です。例えば、札幌市や旭川市は独自で作っているシステムになります。N E Cや富士通などのいろいろな規格があり、また完全独自のシステムなど、これを全部統一しようというのが今の動きで、あまり進んでおらず苦戦しております。 美幌町だけの問題ではなく、全国すべての市町村の問題。
下山委員	これは全体の部署がD Xの対象になっているのでしょうか。
竹下主幹（事務局）	いわゆる業務系端末を使っている部署になります。統一化することによる支障がないかという確認作業を終えたところになります。 本町は、国が示している最終版からはそれほどかけ離れていないので支障はなさそうですが、最終案といったものがまだ出てきていないという状況です。
下山委員	大体の目安としてどのくらいの事務作業削減になるのですか。
竹下主幹（事務局）	私たちの事務作業は変わらず、ソフトが変わるだけになります。 法律が変わるとシステムを直さなくてはいけなくなります。全部のシステムが統一化されたら、今度は国がシステムの改修の指針を出してくれるようになりますので、それをメーカーが見てすぐ直す。そのため、業務が効率化されたり、町民の利便性が上がるというわけではなく、将来的なコストが削減されるだろうという狙いがあります。
吉村会長（司会）	色々なご意見が出ましたけれども、次の方に移ってもよろしいですか。では、次の2番目のふるさと寄附金の取組についてご説明をお願いします。

<p>森谷主事補(事務局)</p>	<p>②「ふるさと寄附金の取組」 (事務局説明)</p> <p>議題の②のふるさと寄附金の取組について御説明させていただきます。</p> <p>1 ページ目、ふるさと納税についてです。この中にもふるさと納税を利用されたことがある方がいらっしゃるかもしれませんが、簡単に言いますと、生まれ育った町や自分が応援したい町に寄附することによって、自治体から返礼品をもらえます。また、住んでる町への住民税や所得税の軽減、減額を受けることが出来ます。</p> <p>2 ページ目です。簡単にふるさと納税の流れを図で表しますと、まず、寄附者から美幌町へ寄附することによって、その金額に見合った返礼品が、寄附者に送られます。</p> <p>その後、自分の住んでる自治体に確定申告等をする事によって、寄附額から2,000円を差し引いた金額が、住んでいる町に払う住民税や所得税から控除、減額されます。</p> <p>例えば、1万円の寄附をした場合、その2,000円を引いた8,000円が、所得税や住民税から減額されるという仕組みになっています。</p> <p>ちなみに、美幌町に住んでる方は美幌町に寄附しても返礼品はもらえないので、自分が住んでいる、住民票がある町以外に寄附することになります。</p> <p>そして3ページの美幌町へのメリットですが、町としてこういったメリットがあるかというところを紹介させていただきます。</p> <p>まず1つ目が、税収の確保ということで、近年問題になっている人口減少によって、当然町への税収も減りますが、その状況でも、町外から財源を集めていくことによって、町の収入を増やすことが出来ます。</p> <p>また、もう1つのメリットとして、特産品をはじめとした美幌町の認知度のアップや、返礼品事業者の販路の拡大につながっていきます。</p> <p>美幌町にどのような返礼品があるのかを御紹介していきます。</p> <p>肉、野菜、海産物、工芸品、加工品など、美幌町は幅広くいろいろな返礼品が充実しています。</p> <p>今紹介した返礼品で、令和3年度と令和4年度で人気のあった返礼品をいくつか御紹介いたします。</p> <p>令和3年度ですが、ご覧のとおりほとんどが野菜で占めており、トウモロコシや玉ねぎ、アスパラなどがランクインしていて、上位3位はすべて玉ねぎとなっており、大変人気がありました。</p> <p>ここに北海道産ブランド牛というものがありますが、これはこの年の12月に登録されたにも関わらず、7位にランクインしております。</p> <p>令和4年度ですが、前年度で7位だった北海道ブランド牛の赤身1キロが飛び抜けて1位となっておりまして、こちらはさとふるという寄附のサイトで人気急上昇して、そのサイトの人気ランキングに入ったことで、多くの寄附が集まりました。</p> <p>しかし、美幌町は野菜の町ということで、ほとんどが芋や玉ねぎ、とうもろこし、アスパラが占めております。</p> <p>4位の鱒いくら醤油漬けというのは、その年の11月頃に登録したのですが、在庫が足りなくなるほど人気がありました。</p> <p>いただいた寄附は4つの使い道を選べるようにしており、経済の活性化、教育の充実支援、福祉の充実支援、そしてまちづくりがあります。</p> <p>寄附者には、事前にどれかを選んでから寄附をしてもらい、集まった寄附については、翌年度の町の事業予算に充てられております。</p> <p>次に、過去5年度、令和4年度までの5年間の寄附額を御紹介します、まず平成30年度が約3,600万円。平成31年度(令和元年度)が、約</p>
-------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>森谷主事補(事務局)</p>	<p>4,400万円。令和2年度が約8,700万円。令和3年度が約1億9,200万。昨年度の令和4年度が約4億800万円ということで、おかげさまで御覧のとおり、平成31年度から、ここ3年度、倍々ときておりまして、平成31年度から見ますと、約11.5倍まで寄附額が集まってきております。</p> <p>ではこれだけ多く寄附を集めてきた美幌町ですが、ほかの自治体と比べるとどうなのか見ていきたいと思っております。</p> <p>まず、全国の順位で、御覧のとおり美幌町は、これだけ寄附を集めてもまだ531位です。1位は宮城県都市で195億円。2位が紋別市の194億円。3位は根室市の176億円となっております。まだまだ大きな差が開いています。</p> <p>次に道内の順位を見ていきますと、美幌町が59位となっており、1位が紋別市、2位が根室市、3位が白糠町というところとなっております。美幌町が全体180位の中の59位なので、大体上位の3割ぐらい。隣町の弟子屈町も、46億円で6位となっておりまして、まだまだ美幌町は成長できると思っております。</p> <p>最後に管内の順位です。オホーツク管内の順位を見て頂くと、18位中、6位となっております。</p> <p>1位、2位は、紋別市、北見市でありまして、3位は網走市で約24億円。4位に興部町が約7億円、5位5億円で雄武町、その次に美幌町が来ております。</p> <p>全国から、道、管内と見ましたが、大体、どれも上位3割くらいに入っておりますので、これからもより伸ばしていけるように頑張りたいと思っております。</p> <p>続きまして、寄附を集めるための取組実績を御紹介したいと思います。</p> <p>まず1つ目が、ふるさと納税サイトの運用ということで、先ほど出てきた、さとふるやふるさとチョイス、楽天、ふるなび、ANA、三越伊勢丹という、寄附者の方々が自分で返礼品を見て選んで寄附できるサイトを6つ運用しております。このほかにも、6つのサイトを、追加で公開できるように準備を進めています。</p> <p>2つ目が、先ほど冒頭でお話した特設サイトの作成、運用ということで、令和3年度からオープンしているサイトでございます。まちなことや特産品、返礼品そして寄附金の使い道などを紹介しております。</p> <p>3つ目は広告の掲載です。より多くの寄附者から寄附を集めるという目的で、いくつか広告を運用しております。</p> <p>1つ目が楽天の広告で、楽天のイベントの特集に組んでもらったり、「ふるさと納税 肉」などと検索したときに、上の方に美幌町が出てきやすいようにするような広告を行っています。</p> <p>2つ目がグーグル広告ということで、グーグルを使う方々で、その中でも地域や年齢などをあらかじめ指定することで、そのターゲットに向けて、返礼品が表示されるような仕組みで、皆さんに見ていただくという広告をしております。</p> <p>3つ目が、京成電鉄という東京や千葉の方で走っている電車があるのですが、その車両の中に美幌町を紹介しているシールを貼っておりまして、不特定多数の方々に見てもらえるようにしております。</p> <p>4つ目が、平成30年度、31年度頃に取り組んでいたものですが、じゃらんで旅する北海道という冊子にふるさと納税の特集があり、その中に、美幌の返礼品を掲載してもらいました。</p> <p>5つ目が、ふるさと納税サイト内の特集ということで、楽天広告と似ていますが、さとふるやANAのサイトの特集の中で取上げてもらっていません。</p>
-------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

森谷主事補(事務局)	<p>最後に、まだまだ伸びしろのある美幌町でさらに多くの寄附を集めるための今後の増収に向けた取組を御紹介します。</p> <p>まず、新たな返礼品の発掘ということで、現在200を超える返礼品が美幌町で登録されていますが、まだまだ返礼品に登録されていない特産品が町内にもあるかと思しますので、引き続きそれらを返礼品に登録できるように動いていきたいと思っております。</p> <p>そして2つ目、こちらが先ほど紹介したふるさと納税サイトの追加ということで、現在運営している6つのサイトの他に、もう6つのサイトの追加に向けた準備を進めております。寄附のサイトを増やすことによって、窓口を増やし、より幅広い方々にアプローチできればと思っております。</p> <p>そして最後は露出の強化ということで、先ほど紹介した広告も露出の1つですが、特設サイトでより多くの情報を掲載したり、フェイスブックや、X(旧Twitter)で、情報発信をしていきたいと考えております。</p> <p>これらを取り組んでいくことでたくさんの寄附を集め、集めた寄附を、町民の皆様へ還元できるように努めて参りますので、今後どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>以上で、ふるさと納税の取組の御紹介を終わりたいと思っております。</p>
吉村会長(司会)	<p>(質疑応答)</p> <p>ただいまふるさと納税の取組について説明いただきました。今の内容につきまして、御意見等いただきたいと思っております。</p>
加藤委員	<p>資料1の3ページに、寄附金額4億円、謝礼品代が7,300万円と書いてありますが、実際に美幌町が使えるのは、4億円のうち、いくらぐらいでしょうか。</p>
森谷主事補(事務局)	<p>経費は寄附額の半分以上に納めなければいけないとなっております、前年度でいうと、4億円の中の約2億円ぐらいが、事業に充てられるような金額となっております。</p>
加藤委員	<p>ありがとうございます。</p>
三浦委員	<p>2点ほど。まず1つは、ふるさと納税サイトに返礼品を掲載してもらうにはお金がかかるのでしょうか。</p>
森谷主事補(事務局)	<p>写真撮影をする際の商品を用意してもらうという点では若干費用が掛かりますが、基本的にはかかりません。</p> <p>ただし、特設サイトに掲載する場合は若干の掲載費用をいただいているものがございます。</p>
沖崎課長(事務局)	<p>補足ですが、それぞれのサイトから寄附を申込みしたときは寄附額の数%の手数料がかかるというような仕組みになっています。</p>
三浦委員	<p>もう1つ。美幌町ふるさと納税というのは、美幌町を知ってもらうことで美幌町の外側にファンをつくるということに関しては、1つの方法だと思うけれども、ふるさと納税にのめり込みすぎて問題が起きているような自治体も耳にしたことがありますので、無理のない程度でいろいろ頑張っていきましょう。</p>
吉村会長	<p>今お話しいただきましたけど、町外や道外の方に向けてのPRという部分では非常に効果的なものなんだろうと思っております。</p>

吉村会長	<p>寄附額も段階的に上がってきてますけど、本当に助かってますし、生産者の皆さんもそれを気力として力を付けながら働いているという意味では、本当にいいものだなと理解をしています。</p> <p>町民にも当然還元されることになると思いますので、無理することはないですけども、美幌にある良きもののPRを頑張っていきたいという話ですから、私としてはぜひ進めてほしいなというふうに思っています。</p>
吉村会長（司会）	<p>【閉会】</p> <p>以上で、令和5年度第1回美幌町行政改革推進委員会を終了させていただきたいと思います。</p> <p>それぞれ委員の皆様から色々な御意見をいただきました。</p> <p>第3次の実施計画の中にですね、それぞれ取り組んでいただけるようにですね、この後も進めていただきたいというふうをお願い申し上げまして、終了させていただきたいと思います。</p> <p>（終了）</p>